

JAL 自動チェックイン機/手荷物預け機の非接触化に弊社「エアクリック」が採用されました

日本航空株式会社（代表取締役社長執行役員：赤坂 祐二、本社：東京都品川区、以下「JAL」）の自動チェックイン機・自動手荷物預け機のタッチパネルを非接触化するソリューションに、日本エアロスペース株式会社（代表取締役社長：蔵前浩、本社：東京都港区、以下「日本エアロスペース」）が製造販売するタッチレスセンサー「エアクリック(AirClick)」が採用されました。今回の採用は、JAL が現在進めている「JAL SMART AIRPORT」取組の中で進めている新型コロナウイルス感染症予防対策の一環となります。

エアクリックの紹介 HP：<https://www.j-aero.co.jp/products/airclick/>

空港内の自動チェックイン機、自動手荷物預け機にタッチレスセンサー「エアクリック」を取り付けることで、操作画面に直接触れることなく、指を画面にかざすだけで搭乗手続きや手荷物タグの発行が可能となります。エアクリックから出る赤外線によりタッチパネルから離れた空中で指をかざすことで機器の操作することができます。

新型コロナウイルス感染症対策が求められる昨今の環境下に於いて、自動チェックイン機、自動手荷物預け機の画面を直接触れることなく操作可能にすることによって JAL が行っている空港や機内の安全・安心な環境づくりに向けた取り組み強化に寄与します。



赤外線によって自動チェックイン機のタッチパネルを非接触化



自動手荷物預け機のタッチパネル非接触化

<導入時期・場所について>

- 3月22日以降 羽田空港国内線の自動チェックイン機・手荷物預け機に順次展開
- 4月以降 札幌(新千歳)、大阪(伊丹)、福岡、沖縄(那覇)空港に展開予定

<タッチレスセンサー「エアクリック」概要>

- 対応画面サイズ(縦横)：115mm～346mm (自由に検知範囲の設定可能)

- インターフェース：USB
- 既存機器に後付けで非接触化可能

エアクリックは既存機器に取り付けるだけでタッチパネルを非接触化することが可能となる、簡便で低コストなソリューションです。センサーから発出する赤外線が指を感知し、画面に触れずに指を画面にかざすことによって操作することが可能で、既存製品を改修せずに設置できるのも特徴の一つです。

日本エアロスペースは新型コロナウイルス感染症対策として、スーパーマーケットのセルフレジや ATM・ホテル向け自動チェックイン機・飲食店オーダー端末等のタッチパネルに対応するタッチレスセンサーを提案してまいります。

以上

<問い合わせ先>

日本エアロスペース株式会社 先進技術ビジネス本部

メール: jac-ah-aa@j-aero.co.jp

TEL: 03-5785-5968